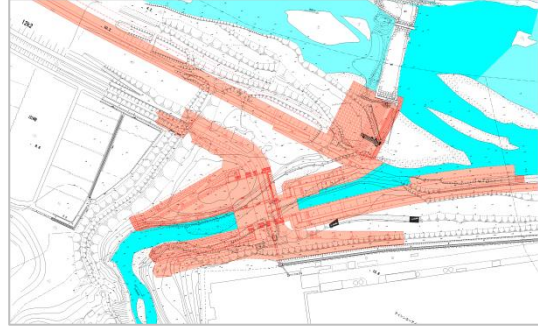


デリニエーターによる視線誘導

平成 25 年度 矢作古川分派施設工事

<工事概要>

本工事は平成 25 年度矢作川整備事業の一環であり、矢作川から分岐する矢作古川の破堤・氾濫による洪水被害を防ぐため、分派施設（堰）を構築する工事である。



<「見える化」概要>

本工事では現場の入口に片側交互通行の狭い堤防があり、車で入場してくる場合がほとんどである。日中はもちろん暗い場合でも、路肩や道路の線形の明示のために反射体の役割を担うデリニエーターを設置し、運転手の視線の誘導を図っている。左側を黄色、右側を赤色に統一することで、路肩や道路の線形をわかりやすくし、路肩からの転落を防止している。本工事では、このデリニエーターは、車両における災害を防止するための「見える化」として有効利用されている。



また、現場内においてもデリニエーターを設置している。現場内にも堤防があり、転落防止のため、法肩にある単管バリケードにデリニエーターを設置し、歩行者の視線の誘導・落下防止を図っている。本工事では、現場内においてもこのデリニエーターは、歩行者の転落災害を防止するための「見える化」として有効利用されている。

